

別表 6 重要業績指標 (KPI)

第7章 重要業績指標 (KPI) の設定 関係資料

市営住宅の耐震化

リスクシナリオ 1-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
市営住宅整備事業 (住宅政策室分) 【建築部】	老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。			
	指標	市営住宅戸数に占める耐火住宅の割合 (耐火住宅/市営住宅数×100)		
	目標	87.91%	86.99%	89.31%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	84.97%	85.21%	

事業名 【担当所属】	事業内容			
市営住宅整備事業 (旧上小阪東住宅建替) 【建築部】	老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。			
	指標	宝持西住宅建替事業実施に向けた進捗状況		
	目標	-	PFI 導入可能性調査	事業者選定準備
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績		PFI 導入可能性調査	

事業名 【担当所属】	事業内容			
住宅地区改好事業 (北蛇草地区住宅建替) 【建築部】	老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。			
	指標	北蛇草地区住宅C棟建替事業実施に向けた進捗状況		
	目標	-	PFI 導入可能性調査	事業者選定準備
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績		PFI 導入可能性調査	

別表 6 重要業績指標（KPI）

事業名 【担当所属】	事業内容			
住宅地区改好事業 (荒本地区住宅建替) 【建築部】	老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。			
	指標	荒本地区住宅C棟建替事業実施に向けた進捗状況		
	目標	-	-	PFI導入可能性調査
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績		-	

市立施設における耐震化

リスクシナリオ 1-1、1-2、3-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
市有建築物耐震化の 進捗管理と推進 【建築部】	東大阪市市有建築物耐震化整備計画に基づき、市有建築物耐震化の適切な進捗管理を行うとともに、推進を図る。			
	指標	① 計画期間内（平成37年度まで）に耐震化を図る特定建築物16棟 ② 計画期間内（平成37年度まで）に耐震化を図る準防災関連施設10棟		
	目標	① 4棟 ② 3棟	① 7棟 ② 5棟	① 8棟 ② 7棟
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	① 4棟 ② 3棟	① 7棟 ② 5棟	

別表 6 重要業績指標 (KPI)

緊急避難場所の整備

リスクシナリオ 1-1、2-1、2-4、2-7、2-10、7-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
花園中央公園整備 事業 【土木部】	スポーツやレクリエーションの拠点となり、災害時には広域避難場所としての防災機能も併せ持つ総合公園として、花園中央公園の整備を推進する。			
	指標	花園中央公園の整備進捗状況		
	目標	用地買収 整備工事 実施設計	改修工事2件 整備工事1件	用地買収 整備工事1件
	事業実施年度	30年度	元年度	2年度
	実績	用地買収1件 (13,667㎡) 整備工事8件 実施設計2件	用地買収1件 改修工事5件 整備工事3件	

事業名 【担当所属】	事業内容			
公園整備事業 【土木部】	子供や高齢者が安全に利用でき、安心してすごせる街区公園、近隣公園の整備を行う。また、スポーツやレクリエーションの拠点となり、災害時には広域避難場所としての防災機能も併せ持つ総合公園として、花園中央公園の整備を推進する。 ・花園中央公園整備事業 ・布施公園整備事業 ・新池島南公園整備事業 ・都市公園バリアフリー化事業 ・都市公園長寿命化対策支援事業			
	指標	公園の開設率（都市計画公園開設面積/計画面積）		
	目標	77.9%	78.7%	82.8%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	77.5%	77.5%	

別表 6 重要業績指標（KPI）

密集住宅市街地整備促進

リスクシナリオ 1-1、7-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
密集住宅市街地整備 促進事業 【建築部】	老朽木造賃貸住宅が密集している若江・岩田・瓜生堂地区において、消防活動や避難に寄与する防災道路の整備を行うとともに、老朽木造賃貸住宅の除却や建物の不燃化を促進することで、防災性の向上及び安全・快適なまちづくりを目指す。			
	指標	事業進捗率（防災道路用地買収面積/事業用地面積×100）		
	目標	(H29) 51.00%	56.9%	67.5%
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	50.09%	52.8%	

管理不全な空き家の発生・放置予防対策

リスクシナリオ 1-1、8-6

事業名 【担当所属】	事業内容			
空き家対策推進事業 【建築部】	「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空き家の適正管理、発生予防、及び利活用に向けた取り組みを推進する。			
	指標	① 周知啓発 ② 除却補助制度を活用した特定空き家等の戸数（戸）		
	目標	① 周知啓発	① 周知啓発 ② 5戸	① 周知啓発 ② 5戸
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	①セミナー開催等	① 相談会・セミナー等開催 ② 4戸	①相談会・セミナー開催 ②12戸

別表 6 重要業績指標 (KPI)

連続立体交差事業の推進

リスクシリオ 1-1、1-5、2-8、5-6、5-7、5-8、6-3、
7-1、7-2、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
近鉄奈良線連続立体 交差事業（府受託事 業） 【土木部】	事業主体である大阪府より委託を受け、踏切の交通渋滞の解消や 事故防止および分断された地域の一体的な整備と活性化を図る。			
	指 標	用地取得進捗率（累計用地取得面積/全用地取得必要面 積）		
	目 標	97.4%	100%	—
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実 績	96.3%	96.5%	

鉄軌道施設の防災・安全性等向上

リスクシナリオ 1-1、1-2、1-5、5-5、5-6、5-7、5-8、6-3、
7-2、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
JR徳庵駅東側エレ ベーター設置事業 【土木部】	JR徳庵駅東側連絡通路にエレベーターを設置し、バリアフリー化 を図る。			
	指 標	エレベーター設置事業の進捗率		
	目 標	7%	16%	25%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実 績	0%	1%	

重要路線に架る橋梁の修繕・補強

リスクシナリオ 1-1、1-5、5-1、5-5、5-6、5-7、5-8

事業名 【担当所属】	事業内容			
橋梁修繕補強事業 【土木部】	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の修繕工事を実施す ると共に、重要な橋梁について順次耐震補強を実施し、安全で安心 な道路環境の確保を図る。			
	指 標	整備進捗率（整備橋梁数/年度別計画橋梁数×100）		
	目 標	100%	100%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実 績	50%	75%	

別表 6 重要業績指標（KPI）

駅前交通広場の整備

リスクシナリオ 1-1、1-5、2-8、5-6、5-7、5-8、6-3、7-2
8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業 (永和駅前交通広場) 【土木部】	永和駅前交通広場の整備を進める。			
	指標	事業進捗率（整備実績事業/計画整備事業費×100）		
	目標	(H29)－	49%	65%
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	(H29)－	32%	

都市計画道路の整備

リスクシナリオ 1-1、1-5、2-8、5-1、5-5、5-6、5-7、6-3、
7-2、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業 (高井田長堂線) 【土木部】	都市計画道路高井田長堂線（長堂小学校西～府道大阪枚岡奈良線）の整備を進める。			
	指標	事業進捗率（整備実績事業/計画整備事業費×100）		
	目標	(H29)－	96%	99%
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	(H29)	89%	

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業 (小阪稲田線) 【土木部】	都市計画道路小阪稲田線（河内小阪駅～府道大阪枚岡奈良線）の整備を進める。			
	指標	事業進捗率（整備実績事業/計画整備事業費×100）		
	目標	(H29)－	97%	100%
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	(H29)	93%	

別表 6 重要業績指標（KPI）

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業（大阪 瓢箪山線【恩智川～ 外環】） 【土木部】	大阪瓢箪山線（大阪中央環状線から恩智川まで）を大阪外環状線まで延長する。（事業に係る用地取得事務などを大阪府より受託）			
	指標	用地取得進捗率（累計用地取得面積/全用地取得必要面積）		
	目標	0%	6.1%	18.2%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	-	0.0%	0.0%

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業 【土木部】	本市総合計画および社会資本整備総合計画に基づき、都市計画道路および都市計画駅前広場の整備を図る。			
	指標	実施中事業の進捗率（整備実績事業/計画整備事業費）		
	目標	74.8%	75.7%	76.3%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	74.6%	77.7%	

職員の資質・能力の向上

リスクシナリオ 1-1、2-2、2-5、2-6、3-1、3-3、3-4、6-5

事業名 【担当所属】	事業内容				
救急救命士養成・ 高度化事業 【消防局】	増加・高度化し続ける救急業務に対応するため、高度な知識と技術をもった救急救命士を計画的に養成し、市民生活の安全確保を目指す。				
	指標	高度医療行為認定救急救命士乗車率（乗車認定救急救命士数/目標認定救急救命士乗車数×100）			
	目標	-	37%	48%	58%
	事業実施年度	⇒	29年度	30年度	元年度
	実績		40%	56%	97%

別表 6 重要業績指標（KPI）

事業名 【担当所属】	事業内容			
健康危機管理対策 事業 【健康部】	市民の生命や健康の安全が脅かされる健康危機の発生予防に努めるとともに、発生時への備えとして設備の整備、職員への訓練を実施し、健康危機に向けての管理体制を整える。			
	指標	訓練・研修の実施回数		
	目標	2回	2回	2回
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	2回	2回	

民間建築物の耐震化促進

リスクシナリオ 1-2、7-2

事業名 【担当所属】	事業内容			
震災対策推進事業 【建築部】	東大阪市住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、市民の生命と財産を保護するため、住宅・建築物の耐震診断、改修、除却を計画的かつ総合的に推進する。また、耐震診断義務化となった民間建築物の耐震化を促進する。			
	指標	耐震改修補助制度を活用した住宅の戸数（戸）		
	目標	35戸	35戸	35戸
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	15戸	32戸	26戸

治水施設の整備

リスクシナリオ 1-3、1-6

事業名 【担当所属】	事業内容			
都市基盤河川改修事業（大川） 【土木部】	河川改修を進め、治水対策の充実を図る。			
	指標	整備率（整備延長÷総延長 1,740m）		
	目標	63%	69%	74%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	64%	67%	69%

別表 6 重要業績指標（KPI）

雨水増補管整備

リスクシナリオ 1-3、2-6、5-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
雨水増補管事業 【下水道部】	既設の下水管で流しきれない雨水に対応するための雨水増補管を整備し、浸水被害を軽減する。			
	指標	整備率（整備延長／計画延長）		
	目標	88.9%	91.0%	91.0%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	90.4%	91.0%	94.1%

既設下水道施設の耐震化

リスクシナリオ 1-3、1-5、2-6、2-8、5-1、5-8、6-2、6-3、、
7-3、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
下水道施設再構築事業 【下水道部】	老朽化した下水管やポンプ場施設の更新および耐震化を行い、下水道施設の機能維持を図る。			
	指標	管きよ改築延長（第4次実施計画期間内累計）		
	目標	2.0km	4.0km	5.5km
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	2.2km	5.1km	

外国人に対する支援体制整備

リスクシナリオ 1-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
国際情報プラザ事業 【人権文化部】	英語、韓国・朝鮮語、中国語での行政相談、案内、翻訳や情報発信を進めるとともに、語学ボランティアの派遣、総合相談会等を実施することで、国際理解、国際協力に関する情報提供や支援を行い、多文化共生社会を推進する。			
	指標	国際情報プラザの多言語相談件数		
	目標	800件	810件	820件
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	714件	635件	

別表 6 重要業績指標 (KPI)

事業名 【担当所属】	事業内容			
国際化推進事業 【人権文化部】	外国籍住民への生活支援やその社会参加を推進するための取り組みを進めるとともに、市民や団体などが行う多文化共生推進事業を支援する。また、外国籍の方だけではなくすべての住民にとって国際化や多文化共生の推進に役立つ機能を持つ、いわゆる国際交流センターの整備へ向けた検討を進める。			
	指標	国際交流および多文化共生推進事業の参加者数		
	目標	26,500人	27,000人	27,500人
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	27,509人	27,600人	

自主防災体制の整備

リスクシナリオ 1-4、1-5、1-8、2-2

事業名 【担当所属】	事業内容			
地域版ハザードマップ事業 【危機管理室】	地域の災害特性に着目し、地域ごとの詳細なハザードマップ作成を支援し、地域の防災意識の向上に取り組み、個人の適切・迅速な避難行動を促す。 また、作成済みの地域においては、マップの更新を支援する。			
	指標	作成及び更新の自治連合会数		
	目標	18校区	5校区	5校区
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	6校区	22校区	

事業名 【担当所属】	事業内容			
自主防災組織活動補助事業 【危機管理室】	自主防災組織の自主防災活動を活性化させるため、防災訓練や防災講演会などに対する補助を実施する。			
	指標	防災訓練や防災講演会などの自主防災組織の活動団体数		
	目標	(H29) 40団体	45団体	45団体
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績	(H29) 34団体	36団体	

別表 6 重要業績指標（KPI）

消防車両・資機材等の整備

リスクシナリオ 1-6、1-7、1-9、7-9

事業名 【担当所属】	事業内容			
消防車両整備事業 【消防局】	火災、救急救助、化学災害、自然災害などの事案に対応するため、各種の消防車両について、計画的に車両を導入・更新整備する。			
	指標	車両整備台数		
	目標	—	3台	2台
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	—	3台	

事業名 【担当所属】	事業内容			
高規格救急自動車整備事業 【消防局】	年々増加傾向にある本市の救急需要に対し、常時安全に救急業務を遂行するため、高規格救急車の更新整備を計画的に行う。			
	指標	整備台数		
	目標	2台	1台	2台
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	2台	1台	2台

事業名 【担当所属】	事業内容			
林野火災用可搬ポンプ整備事業 【消防局】	林野火災に備え、老朽化の進む林野火災用可搬ポンプについて整備を行う。			
	指標	整備台数		
	目標	—	1台	1台
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	—	1台	

別表 6 重要業績指標 (KPI)

消防団の装備・訓練等の充実強化

リスクシナリオ 1-6、1-7、2-2、2-7、2-10、3-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
消防団車両整備事業 【消防局】	地域防災力として重要な役割を担っている消防団の現場活動車両について、その性能を維持向上するため、更新・整備していく。			
	指標	整備台数		
	目標	1台	1台	1台
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	1台	0台	

防災上課題が少ない地域への居住誘導

リスクシナリオ 1-7

事業名 【担当所属】	事業内容			
立地適正化計画の策定(コンパクトシティ形成推進事業) 【都市計画室】	都市構造を分析し、職住近接と公共交通を連動させた、新たな土地利用の方向性を検討し、人口減少・高齢化社会に対応したコンパクトなまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定する。			
	指標	検討委員会および協議会等の開催回数		
	目標	3回	1回	—
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	3回	1回	—

事業名 【担当所属】	事業内容			
良好な市街地形成推進事業 【都市計画室】	住宅と工場に代表される用途の混在や、防災上課題がある地区が点在するなど、本市の市街地が抱える様々な課題を解決するため、平成30年度策定の立地適正化計画と併せ、都市計画制度を積極的に活用することで、安全で快適な市街地のあるまちの実現を目指す。			
	指標	地区計画及び特別用途地区の指定箇所数		
	目標	1地区	1地区	1地区
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	2地区	0地区	0地区

別表 6 重要業績指標 (KPI)

宅地耐震化の推進

リスクシナリオ 1-7

事業名 【担当所属】	事業内容			
宅地耐震化推進事業 【建築部】	大地震時では大規模に盛土造成された宅地では滑動崩落による被害発生の可能性があり、国の「大規模盛土造成宅地の変動予測調査ガイドライン」に沿って行った第1次スクリーニング結果（H27公表）を踏まえ、現地でのさらに詳細な調査や安定計算等（第1.5次・2次スクリーニング）を行うもの。			
	指標	周知・協力依頼・調査の実施		
	目標	造成年代調査	周知・協力依頼の準備（資料作成）	第1.5次スクリーニング調査
	事業実施年度	元年度	2年度	3年度
	実績	-	-	-

救援物資の備蓄

リスクシナリオ 2-1、2-6、3-3

事業名 【担当所属】	事業内容			
備蓄物資整備事業 【危機管理室】	避難所での良好な生活環境を提供するため、災害時用の備蓄物資や資機材を整備する。			
	指標	備蓄物資等の更新（学校数）		
	目標	40校	40校	40校
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	77校	77校	

別表 6 重要業績指標（KPI）

上水道施設の更新及び耐震化

リスクシナリオ 2-1、5-1、5-5、6-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
第四次水道施設 整備事業 【水道施設部】	山間部の送配水機能のシステム強化を実施すると共に、平区配水機能の強化を推進する基幹施設を耐震整備し、地震等災害に対応する安全性の確保・向上や老朽化施設の更新を図る。			
	指標	配水池の耐震化率		
	目標	45.5%	45.5%	48.7%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	45.5%	45.5%	

生活ごみ・災害廃棄物の適正処理

リスクシナリオ 2-6、6-2、8-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
清掃車両整備事業 【環境部】	家庭ごみ、資源化物、不法投棄されたごみ等の収集・運搬作業の円滑化を図るため、清掃車両を計画的に更新する。			
	指標	更新車両台数		
	目標	7台	5台	5台
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	7台	0台	

良好な避難所環境の整備

リスクシナリオ 2-9、3-1、3-3、6-5、7-6、7-7

事業名 【担当所属】	事業内容			
小学校普通教室への 空調整備事業 【施設整備室】	暑さ対策を含む良好な学習環境づくりのため、小学校普通教室に空調設備を整備する。			
	指標	小学校普通教室の空調整備実施率		
	目標	0%	0%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	0%	0%	100%

別表 6 重要業績指標（KPI）

防災拠点としての新水道庁舎整備の検討

リスクシナリオ 3-1、6-1

事業名 【担当所属】	事業内容			
上下水道庁舎整備事業 【上下水道局経営企画室】	上下水道局同一庁舎の実現に向け、整備を進める。			
	指標	同一庁舎の実現の進捗状況		
	目標	建設工事の着工	建設工事の実施	建設工事の完成 同一庁舎の実現
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	見直しの検討	方向性の検証	方針の検討

地域コミュニティの再生・活性化の推進

リスクシナリオ 4-2、4-3、4-4、8-3

事業名 【担当所属】	事業内容			
東大阪市版地域分権 制度推進事業 【公民連携協働室】	地方創生をはじめとし、地方独自の取り組みの重要性が増している中、東大阪市においても、地域の特色に応じたまちづくりを推進していく必要がある。そこで東大阪市版地域分権制度を構築・推進し、「住みたいまち、住み続けたいまち東大阪」を実現していく。			
	指標	事業の進捗状況		
	目標	制度の構築周知	制度の運用	制度の運用
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	制度の検討・構築	制度の検討・構築	

事業名 【担当所属】	事業内容			
地域まちづくり推進 制度（東大阪市版地域 分権制度）検討事業 【公民連携協働室】	地方まちづくりに関するこれまでの取組みを検証するとともに、あらたな地域まちづくりを推進するしくみを再検討するため、市民及び市職員の協働に対する意識醸成を目的としたセミナーや研修を実施する。			
	指標	研修等参加者のうち、協働意識が向上したと考える人の割合		
	目標	—	80%	80%
	事業実施年度	30年度	元年度	2年度
	実績	—	93%	

別表 6 重要業績指標（KPI）

大阪モノレール南伸

リスクシリオ 5-6、5-7、6-3、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
大阪モノレール南伸 事業 【交通戦略室】	大阪モノレール南伸の早期事業着手に向けて、大阪府等の関係機関と協議を進める。また、駅前広場や乗継施設の整備などを含めたまちづくりについて検討を進める。			
	指標	モノレールの南伸の事業進捗状況		
	目標	駅前広場、乗継施設等の検討、都市・地域総合交通戦略の検討	駅前広場等の都市計画決定、都市・地域総合交通戦略の検討	都市・地域総合交通戦略の策定
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	駅前広場、乗継施設等の検討、都市・地域総合交通戦略の検討	駅前広場等の都市計画決定、都市・地域総合交通戦略の検討	事業の認可取得

事業名 【担当所属】	事業内容			
街路整備事業 (大阪モノレール南伸関連) 【交通戦略室】	大阪モノレール南伸の軌道にかかる都市計画道路の整備を進める。			
	指標	事業進捗率（整備実績事業/計画整備事業費×100）		
	目標	—	1%	2%
	事業実施年度	⇒	元年度	2年度
	実績		1%	

別表 6 重要業績指標 (KPI)

道路の維持管理・補修

リスクシナリオ 6-3、8-4

事業名 【担当所属】	事業内容			
道路ストック点検 調査事業 【土木部】	経年劣化による老朽化等が進行している道路ストック（道路構造物）を点検調査することで、計画的かつ予防保全的な修繕を実施し、道路ストック（道路構造物）の長寿命化を図り、安心安全な街づくりを推進する。(1) 橋梁点検調査 (2) 道路照明灯調査 (3) 路面陥没調査			
	指標	①橋梁の調査数 ②道路照明灯の調査数		
	目標	①62 橋 ②0 基	①86 橋 ②675 基	①70 橋 ②675 基
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	① 133 橋 ② 0 基	① 35 橋 ② 0 基	

事業名 【担当所属】	事業内容			
市内一円道路改良 事業 【土木部】	市が管理する道路の整備・改良を行う事で、交通の安全と円滑化や、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。			
	指標	整備進捗率（整備路線数/年度別計画路線数×100）		
	目標	100%	100%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	100%	100%	

事業名 【担当所属】	事業内容			
市内一円側溝整備 事業 【土木部】	認定道路等における路面排水機能の改善や道路幅員の有効利用を図るため、市内一円の側溝整備を実施し、生活環境の改善を図る。			
	指標	整備進捗率（整備延長/年度別計画延長×100）		
	目標	100%	100%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	100%	100%	

別表 6 重要業績指標 (KPI)

事業名 【担当所属】	事業内容			
市内一円舗装事業 【土木部】	市が管理する道路について破損した舗装箇所や老朽化した舗装の整備を行うことで、快適で安全な交通の確保や沿道住民の住環境の保全を図る。			
	指標	執行予算額／当該年度予算額×100		
	目標	100%	100%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	100%	100%	

事業名 【担当所属】	事業内容			
私道舗装事業 【土木部】	私道の舗装整備を促進し、市民の良好な生活環境の確保を図る。			
	指標	執行予算額／当該年度予算額×100		
	目標	100%	100%	100%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	79%	60%	

事業名 【担当所属】	事業内容			
交通安全施設整備事業（交通安全対策特別交付金） 【土木部】	市内道路利用者の安全と円滑な利用を促進するため、交通事故の危険性が高い交差点等を中心に交通安全施設の整備やバリアフリー化の工事を行い、安全で円滑な道路の整備を図る。			
	指標	市内で発生した交通事故における人身事故件数の対前年度比（当該年度人身事故件数/前年度人身事故件数）		
	目標	1以下	1以下	1以下
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	1	0.95	

別表 6 重要業績指標（KPI）

都市農業活性化及び農地活用の促進

リスクシナリオ 6-8、7-5

事業名 【担当所属】	事業内容			
都市農業活性化農地活用事業 【都市魅力産業スポーツ部】	農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。			
	指標	大阪エコ農産物栽培面積		
	目標	1,400a	1,450a	1,500a
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	2,847a	2,750a	

農業用水路の改修

リスクシナリオ 6-8、7-5

事業名 【担当所属】	事業内容			
六郷水路改修事業 【土木部】	農業用水路の機能回復および浸水被害防止のため、計画的な改修を行う。			
	指標	水路整備延長率（整備延長÷総延長1,800m）		
	目標	0%	10%	20%
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	0%	9%	

重要文化財建造物の耐震化

リスクシナリオ 8-7

事業名 【担当所属】	事業内容			
鴻池新田会所整備事業 【人権文化部】	改修の必要がある国史跡・重要文化財鴻池新田会所について、専門家による現状の調査を行い、その結果に基づいて中長期の展望に立った史跡等保存管理計画を策定する。			
	指標	史跡保存計画策定状況		
	目標	調査	調査	策定
	事業実施年度	29年度	30年度	元年度
	実績	調査実施	協議	

別表 6 重要業績指標 (KPI)